

Title	安住院蔵『源氏物語』夕顔巻断簡校異一覽
Author(s)	松本, 大
Citation	詞林. 2022, 71, p. 1-12
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/87131
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

安住院蔵『源氏物語』夕顔卷断簡校異一覽

松本 大

- ・以下に掲げる校異は、加藤洋介『河内本源氏物語校異集成』（風間書房、二〇〇一）と同様の作業を、安住院蔵本の残存部分を対象として行ったものである。
- ・夕顔卷の別本の校異については、加藤洋介「源氏物語校異集成（稿）」(http://www.w2kansai-u.ac.jp/ok_matsu/index.html)にて、陽明文庫蔵本の校異データが公開されている。本稿は、これに安住院蔵本を加える形で、校異一覽を作成した。掲出方法や使用記号については、加藤氏の方針をそのまま踏襲した。ただし、両本の異同状況をよりの確に示すために、必要に応じて掲出を改めた箇所がある。
- ・安住院蔵本の略号は「安」とし、陽明文庫蔵本（略号「陽」）の後に示すこととした。
- ・安住院蔵本は、夕顔卷の五分の程度の本文を有する。安住院蔵本が残存していない部分の校異については、必然的に陽明文庫蔵本のみでの掲出となるため、本稿ではこの部分を省略し、破線を付した。
- ・安住院蔵本の詳細については、拙稿「安住院蔵『源氏物語』夕顔卷断簡・東屋卷断簡の紹介―付、翻刻―」（中山一磨編『寺院文献資料学の新展開 4巻 安住院資料の調査と研究』、臨川書店、二〇二二近刊）を参照されたい。

01 01 | 14 ひとりこち給をーくちすさみ給を陽ーくちすさひに
の給を安

01 01 | 14 みすいしんー御すい身安

01 02 | 01 はなのなはー（はなの）名は陽ー名は安

01 02 | 01 かうーかく陽安

01 02 | 01 なんーのみなん安

01 02 | 01 さき侍けると申すーさき侍けると申陽ーさきはへる
ときこゆ安

01 02 | 01 いとこいゑかちにむつかしけなるーこいゑかちなる
陽ーこいゑかちなりけり「以下落丁」安

陽ーこいゑかちなりけり「以下落丁」安

01 03 | 04 ものしたまへはーものし給へは陽ーものし給へれば

安

01 03 | 04 いとーナシ陽

01 03 | 04 くちをしうーくちをしく陽安

01 03 | 05 くらゐたかくーくらひたかう陽

01 03 | 05 などーナシ安

01 03 | 05 みなし給へーみなしたまゑ安

01 03 | 05 こゝのしなー九つのしな陽

01 03 | 05 さはりなくーさはりなくは安

01 03 | 05 むまれーうまれ陽ーのほり安

01 03 | 06 すこしーすこしも安

01 03 | 06 なむーなんと陽ーなん安

01 03 | 06 などーなど、陽

01 03 | 06 なみたくみてーなみたうけて安

01 03 | 07 めのとーめのとなど安

01 03 | 07 おもふへき人はー思人はまことに安

01 03 | 07 あさましうまをにーあさましく安

01 03 | 07 みなすものをーみなすお陽ーみなす物を安

01 03 | 08 おもた、しうーをもた、しく安

01 03 | 08 なつさひーなつさへ陽

01 03 | 08 つかうまつりけんーつかまつりけん安

01 03 | 08 いたはしうーいたはしく安

01 03 | 08 かたしけなくーかたしけなう陽ーナシ安

01 03 | 09 おもほゆーおほゆ陽安

01 03 | 09 なみたかちなりーなみたかち也陽ーなみたかちなめ
るを安

01 03 | 09 こともはーことんは陽

01 03 | 09 おもひてーみて陽ー思て安

01 03 | 10 よのさりかたきー事のありかたき陽

01 03 | 10 ひそみーひそみて安

01 03 | 10 つきしろひーつきしろうひ陽ーつきしろい安

01 03 | 11 めくはすーめくらす陽

01 03 | 11 あはれとーあはれに安

01 03 | 11 おもほしてーおほして陽安

01 03 | 11 いはけなかりけるほどに思へきーいはけなき程とふ

へき陽

- 01 03 11 人くの人く安
 01 03 12 人一人の陽一人は安
 01 03 12 あるありし陽
 01 03 13 したしくしたしう陽
 01 03 13 すちはかたは安
 01 03 13 又なくかたはらなく陽たくひなく安
 01 03 13 おもほえしおほへしを陽おほえし安
 01 03 13 のちは後陽のち安
 01 03 14 えみたてへみたて陽
 01 03 14 まうつるまうへつる陽
 01 04 01 ひさしうひさしく安
 01 04 01 たいめむたいめん陽たいめ安
 01 04 01 心ほそく心ほそ陽心もとなく安
 01 04 01 わかれわ△れ陽
 01 04 02 なんナシ安
 01 04 02 こまやかにおほゆるとまめやかに陽
 01 04 02 そてのほひもいと御そてのにをいと、陽御
 そてのほひも安
 01 04 03 かほりみちたるにみち給へり陽みえたまへる安
 01 04 03 よにおもへはおもへは陽思へはよに安
 01 04 03 人の一人たに陽
 01 04 04 あま君をもとかしとみつることもみなうちしほたれ

けり思ひつる事んうちしほたれぬ陽あま君をも
ときつる人もみなうちしほれにけり安

- 01 04 04 又またまたく陽み、安
 01 04 05 事などよしなどを安
 01 04 05 をきてのたまはせておきての給はせて陽いひを
きて、安
 01 04 05 いて給とていて給に陽
 01 04 06 いとナシ陽安
 01 04 06 しみふかうしみふかく安
 01 04 06 おかしうナシ安
 01 04 07 すさみかきたりすさひかきたりちいさくて陽す
さみかきたりつまにちゐさくて安
 01 04 09 かきまきはしたるもかきまきはしたるても陽
安
 01 04 09 ゆへつきゆへつけ陽ゆえつき安
 01 04 10 おほえ給おほざる安
 01 04 10 いゑはこいゑは陽いゑに安
 01 04 10 なに人のすむそすむはたれそと安
 01 04 11 うるさき御心とはおもへともうるさき御くせとお
もへと陽御こ、ろのくせのうるさきとは思へとも
安
 01 04 11 えさは申さてさはへ申さて陽さはえ申さねは安
 01 04 11 こ、に侍れとかくて侍れとも安

- 01 04 | 12 はうさの事をおもふ給へあつかひはへるほとにーひ
やうしやの事をおもひ給へあつかい侍るほとに陽ー
わつらふ人のあつかひに心のいとまも候はて安
- 01 04 | 12 事はーあんないも陽ーあないも安
- 01 04 | 13 などーと陽ーなんと安
- 01 04 | 13 きこゆればー申せは安
- 01 04 | 13 にくしとーにくう陽
- 01 04 | 13 思たれなーおもひたなれ陽ー思たれ安
- 01 04 | 14 このはたりのーこのわたりの陽ーこのわたり安
- 01 04 | 14 心ーナシ安
- 01 04 | 14 ものをめしてー物めして陽ー人に安
- 01 05 | 01 いらてー入て陽ーナシ安
- 01 05 | 01 このーこ、の陽安
- 01 05 | 01 おのこをーおとこ陽ーのをこ安
- 01 05 | 01 よひてーよひいたして安
- 01 05 | 02 人のー物、陽ーもの、安
- 01 05 | 02 る中にーる中へ安
- 01 05 | 02 わかくーわかくて安
- 01 05 | 03 きかよふと申ーまうてきかよふとなん申せと陽ーま
うてきかよふとなん申て「ふとなんノ上カラふとな
んヲ書ク」安
- 01 05 | 03 しも人のー下人なれば安
- 01 05 | 03 えしり侍らぬーえしり申侍へらぬ安
- 01 05 | 04 あらむとーなんと陽ーあらんと安
- 01 05 | 04 きこゆさらはーきこゆれば安
- 01 05 | 04 宮つかへ人な、りー宮つかへ人なり陽ーみやつかへ
人の安
- 01 05 | 04 したりかほにものなれていへるかなとーしりかほに
ものなれてもいゑるかな陽ーしたりかほにものなれ
ていへる安
- 01 05 | 05 おほせとーおほしなから安
- 01 05 | 05 さしてきこゑか、れるーきこゑか、る安
- 01 05 | 05 心のー心も陽ーこ、ろも安
- 01 05 | 06 れみのーなを陽ー猶安
- 01 05 | 06 なめるかしーなるかし安
- 01 05 | 07 いたうあらぬさまにーあらぬすちにいたう陽安
- 01 05 | 07 かきかへ給てーかき返たまひて安
- 01 05 | 08 よりてこそーおりてこそ陽ーをりてこそ安
- 01 05 | 08 それかともみめーそれかともみめ安
- 01 05 | 08 ほのくみつるーほのくみゆる安
- 01 05 | 09 みすいしんーすいしん陽ー御すいしん安
- 01 05 | 09 またみぬーまたへみぬ陽
- 01 05 | 09 御さま也けれとー御さまなりけれと陽ー御さまなれ
とも安
- 01 05 | 09 いとーナシ安
- 01 05 | 09 しるくーしるう陽

- 01 05 | 10 給へる―給ける陽安
 01 05 | 10 御そはめを―御そはめ安
 01 05 | 10 みすくさて―え見すくさて陽―えみすくさて安
 01 05 | 10 さしおとろかしけるを―をとろかしきこえたりつる
 を「かしノ上カラかしヲ書ク」安
 01 05 | 10 いらへたまはて―御いらへもなくて陽安
 01 05 | 10 ほとへければ―ほとへつれば安
 01 05 | 11 なま―ナシ安
 01 05 | 11 はしたなきに―はしたなき心ちしつるを安
 01 05 | 11 わさとめかしければ―わさとかましければ陽安
 01 05 | 11 いひろふへかめれと―いひろうへかめり陽安
 01 05 | 12 めさましとおもひてすいしんは―みすいしんめさま
 しとおもひてやはら陽―めさましと思て御す身は安
 01 05 | 12 御さきのまつ―御さき松も陽―御さいまつも安
 01 05 | 12 ほのかにて―ほのかに陽
 01 05 | 13 いと―ナシ安
 01 05 | 13 いて給ふはしとみは―いて給ぬかのしとみは陽―い
 てたまひぬかのしとみは安
 01 05 | 13 ひま―より―ひま―に安
 01 05 | 14 ほたるよりけにほのかに―ほたるよりもほのかにて
 陽―ほたるよりもけに安
 01 05 | 14 所には―所は陽安
 01 05 | 14 など―なとも陽
- 01 06 | 01 なへての所になす―なへてならず陽安
 01 06 | 01 のとかに―のとやかに陽―ナシ安
 01 06 | 01 給へり―給ひて陽―給て安
 01 06 | 02 けしきことなるに―いとけしきことなるに安
 01 06 | 02 かきね―かきねは陽
 01 06 | 02 おもほしいてらる―おほしいつ陽安
 01 06 | 02 へくも―へくは安
 01 06 | 02 あらすかし―あらへすか―しかし陽―あらねと安
 01 06 | 03 つとめて―つとめても陽安
 01 06 | 03 ねすくし―ねすこし陽安
 01 06 | 03 ほとにいてたまふ―ナシ陽
 01 06 | 03 あさけの―あさあけの安
 01 06 | 03 すかたは―御すかた陽安
 01 06 | 04 めてきこえんも―めてきこえんも陽―めてきこえん
 に安
 01 06 | 04 ことほりなる―ことし「しカ」はりなる安
 01 06 | 04 御さまなりけり―御ありさまなり陽安
 01 06 | 04 この―かの安
 01 06 | 05 し給ふ―給陽安
 01 06 | 05 きしかたもすき給けん―すきぬる方もありき給けん
 安
 01 06 | 05 わたり―道陽安
 01 06 | 05 はかなき―はかなかりし陽安

- 01 06 | 05 御心 | 御め陽安
 01 06 | 06 とまりて | と、まりて安
 01 06 | 06 人の | ナシ安
 01 06 | 06 ならんとは | な覽と陽 | ならんと安
 01 06 | 06 御めとまり | めとまり陽 | 心とまりてみ安
 01 06 | 06 これ光日 | ころありて | これみつひ | ころありて陽 | 日
 01 06 | 06 ころありて | これみつ安
 01 06 | 07 わつらひ | 侍人 | わつらひ侍りし | 人陽 | わつらひは | へ
 りし | ひと安
 01 06 | 07 猶 | ーなん陽
 01 06 | 07 侍れは | ー侍りつれば陽 | は | へれば安
 01 06 | 07 みたま | ひあつかひてなむ | ーみ給あつかひ侍りて陽 | ー
 みあつかひ | 侍てなん安
 01 06 | 08 ちかく | ーちかう陽
 01 06 | 08 きこゆ | ーナシ陽安
 01 06 | 08 おほせ | られし | おほせ事侍りし | 陽 | おほせこと侍り
 し | 安
 01 06 | 08 のち | ー後より陽
 01 06 | 08 事しりて | 侍ものよひて | ーいゑしれる物や陽 | ーいゑし
 れる | 人や安
 01 06 | 09 侍しかと | ー侍りしかは陽 | は | へりしかと安
 01 06 | 09 はか | ーしくも申侍らす | ーはか | ーしう申す物に侍
 らす | 陽 | はか | ーしう申す物もは | へらす安
- 01 11 | 09 さ | 月の | ーこの五月の陽 | 五月の安
 01 06 | 10 ころ | ほひ | ーころ (をひ) 陽
 01 06 | 10 なん | ある | へけれど | ー侍なれと陽安
- 01 11 | 04 す | こし | ーすこしも陽
 01 11 | 04 もの | ーこ | ーろ | 物 | 心陽 | ーもの | ーこ | ーろ安
 01 11 | 04 おも | ひしる | は | ーしる | は陽 | ーしれる | は安
 01 11 | 04 おろ | かに | 思き | こえん | ーおろ | かに | は | 思ひ | き | こ | え | さ | せん
 陽 | ーを | ろ | かに | おも | ひ | き | こ | えん | 安
- 01 11 | 05 う | ち | と | けて | し | も | ー | う | ち | と | けて | も | 陽安
 01 11 | 05 お | は | せ | ぬ | を | ー | を | は | せ | ぬ | こと | を | 安
 01 11 | 05 心 | も | と | な | き | こと | に | ー | 心 | も | と | な | く | 安
 01 11 | 06 か | の | ー | ナシ陽安
 01 11 | 06 か | い | ま | み | は | ー | か | い | は | み陽安
 01 11 | 06 よ | く | ー | よう陽
 01 11 | 06 あ | な | い | ー | あ | ん | な | い | 陽
 01 11 | 06 み | と | り | て | ー | み | と | り | つ | 陽安
 01 11 | 06 そ | の | 人 | と | は | ー | そ | (そ | の |) | 人 | と | は | 陽
 01 11 | 07 え | お | も | ひ | え | 侍 | ら | す | ー | し | り | 侍 | ら | す | 陽 | ー | え | 思 | よ | り | は | へ | ら
 す | 安
 01 11 | 07 い | み | し | く | ー | い | み | し | う | 陽
 01 11 | 07 み | え | 侍 | を | ー | 侍 | を | 安
 01 11 | 07 つ | れ | ー | なる | ま | ー | に | ー | つ | れ | ー | に | 侍 | ま | ー | に | 陽

- 01 11 08 なかやにわたりきつゝ、やにわたりつゝ、陽―なかや
にわたりつゝ、安
- 01 11 09 ものとももの―物とも、陽―物とも安
- 01 11 09 はひわたる―はいりたる安
- 01 11 10 時はへかめる―おりくく侍へかんめり陽―をりはへ
る安
- 01 11 10 かたちなむほのかなれと―かたちなんほのかに侍れ
はにや陽―ほのかなつれはにやかたちなん安
- 01 11 11 わたる―まかる陽―すくる安
- 01 11 11 侍しを―侍りしかは陽―はへりしを安
- 01 11 11 わらはへの―わらはのなれたる陽安
- 01 11 11 いそきて―いそぎぞ安
- 01 11 12 わたり給ぬれ―わたらせ給へ陽―わたり給つれ安
- 01 11 12 あなかまと―あなかま陽―あなかま給へと安
- 01 11 13 いてみむとて―といひて陽―いてみんとて安
- 01 12 01 さかしう―さかしら陽
- 01 12 02 もの、そきのこゝろもさめぬめりき―物のそき心も
うせぬへかめり陽―もの、そきの心もうせぬめり安
- 01 12 03 みすいしんととも―みすいしんととも、陽―御すい身
とも、安
- 01 12 03 ありし―ありつ陽安
- 01 12 03 くれかかしと―くれかかしなど陽
- 01 12 03 かすえしは―かすへしは陽―かそへしは安
- 01 12 03 頭中將―とうの中將陽
- 01 12 03 すいしん―みすいしん陽―御すいしん安
- 01 12 04 その―ナシ陽安
- 01 12 04 するしにいひはへりし―いひ侍りし陽―するよし、
はへりし安
- 01 12 04 なときこゆれは―とかたれば陽―と申せは安
- 01 12 05 くるまをそ―くるまを陽
- 01 40 06 給て―給にも陽安
- 01 40 07 さまのおもかけに―さま陽―さま思いてられて思か
けさらず安
- 01 40 07 おほしいてらるれば―おほしいつ陽安
- 01 40 08 いくつにか―いくつはかりか陽―いくつはかりにか
安
- 01 40 08 あやしく―あやしう陽
- 01 40 08 よの人に―よ人に陽―よ人にも安
- 01 40 08 あへかにみえ給しも―あえかみにえしも陽―あえか
なりしも安
- 01 40 09 なかゝるましくて―なかゝるましようて陽
- 01 40 09 のたまふ―の給へは陽安
- 01 40 09 十九にやなり給けん―十九にや成り給けん陽―十九
になんなり給にけん安
- 01 40 10 なくなりける―なくなり侍にける陽―なくなりは

へりにける安

01 40 | 10 すてをきてーすてをき陽安

01 40 | 10 三位の君のーこ三のきみの陽ー古三位の君の安

01 40 | 11 御あたりさらすー御わたりさけす陽

01 40 | 11 おもひたまへいつれはー思ひ給いつれは陽ー思給へ

いつれは安

01 40 | 11 いかてかよに侍らんすらんーいかてよに侍らんとす

らん陽ーいかてよにはへらんとすらん安

01 40 | 12 くやしくなんーなんくやしう陽

01 40 | 12 ものしたまいし人のーもの給し陽ーものし給し安

01 40 | 12 たのもしき人にてとしころーたのもし人にて陽

01 40 | 13 ならひ侍けるーならひ侍りにける安

01 40 | 13 はかなひたるこそはらうたけれかしこくーしかなら

へるこそ女はあはれなれあまり心かしこう陽ーしか
ならへるこそ女はあはれなれあまり心かしこく安

01 42 | 13 おもひあはせはさりともしーおもは、陽ー思は、さり

とも安

01 42 | 13 つみーナシ安

01 42 | 13 おもふーおほす陽安

01 42 | 13 あひなかりけるーあはれ(いな)かりける陽ーあい

なかりける安

01 42 | 14 少将のー少将陽安

01 42 | 14 おりにみすれはーをりしのひてみていと陽安

01 42 | 14 かくおほしいてたるもさすかにてーさすかに陽

01 43 | 01 かことにてーかこと(と)にて陽

01 43 | 02 てはあしけなるをーてなどあしなから陽ーてはあや

しなから安

01 43 | 03 まきはしーかきまきはし安

01 43 | 03 されはみてーナシ陽安

01 43 | 03 かいたるーかきたる安

01 43 | 03 さましななしーさまもな、し陽ーさましな、し安

01 43 | 03 ほかけにみしかほーみしほかけはなを陽ーみしほか

けは猶安

01 43 | 03 おほしいてらるーおほしいてらる、陽ーおほしいて

られ給安

01 43 | 04 むかひゐたるーむかひいたらん陽ーむかひゐたらん

安

01 43 | 04 えうとみはつましきーえにくむましき陽ーえにくみ

はつましき安

01 43 | 05 心はせー心はせも陽

01 43 | 05 さうときほこりたりしよとーさうときてほこりかな

りしと陽ーさうときてほこりかなりしよと安

01 43 | 05 おほしいつるにーおほしいつるも安

01 43 | 06 なをーナシ陽安

01 43 | 06 あたなーあたなは陽安

- 01 43 06 たちぬへきーたち給ぬへき安
 01 43 06 なめりーなり陽ーなりかし安
 01 43 06 人のーナシ安
 01 43 06 四十九日ー四十九日に安
 01 43 06 しのひてーナシ陽ーいとしのひて安
 01 43 07 ことそかすーよろつしのひたれとことそかす陽ーよ
 ろつことそかす安
 01 43 07 こまかにーナシ陽安
 01 43 08 などーなどに陽安
 01 43 08 給ぬー給陽
 01 43 08 かさりまでー御かさりはまして陽
 01 43 09 あさりーあざりは陽
 01 43 09 たうときーたうとき「くノ上カラキヲ書ク」陽
 01 43 09 になうーいとあはれに陽安
 01 43 09 むつましくおほすーいとむつまじうし給陽ーむつま
 じうおほす安
 01 43 10 もんさうはかせーもんしやうはかせ陽ー文章はかせ
 安
 01 43 10 その人とーいとその人とは陽ーその人とは安
 01 43 10 あはれとーあはれに陽
 01 43 10 人のー女の安
 01 43 11 はかなきさまになりたるをーはかなく成りにしを
 陽ーはかなきさまになりけるを安
 01 43 11 ゆつりきこゆるーたてまつる陽ーゆつりたてまつる
 安
 01 43 11 あはれけにーあはれに安
 01 43 11 かきいて給へはーかきいて給つれば安
 01 43 12 た、かくなからくはふへきーナシ陽
 01 43 12 こと侍らさめりとーナシ陽ーことにもはへらすと安
 01 43 12 申すしのひ給へと御涙もこほれてーナシ陽ー申すし
 のひ給へと御なみたもこほれて安
 01 43 13 いみしくーナシ陽ーいみしと安
 01 43 13 おほしたれはーナシ陽
 01 43 13 なに人ならむーなに人ならん陽ーなに人ならん安
 01 43 13 その人とーその人といふ安
 01 43 13 かうーかく陽安
 01 43 14 なけかすーなけく陽安
 01 43 14 なりけんーなりけん「るノ上カラキヲ書ク」陽
 01 43 14 給へりけるー給「えり」ける陽ー給ける安
 01 44 01 とりよせさせ給てーとりよせて陽安
 01 44 02 したひもをーしたひほを陽
 01 44 03 いたれのーいかなる陽
 01 44 03 まてはーなどは安
 01 44 03 いたれのーいかな「行末るアルカ」安
 01 44 03 さたまりてーナシ陽安
 01 44 03 をもむくーおもむく陽ーをもふく安

- 01 44 | 03 おもほしやりつ、おほしやりつ、陽安
 01 44 | 04 ねんすをーねんす陽ー念す安
 01 44 | 04 頭中將をーとうの中將を陽ー頭中將安
 01 44 | 04 み給ふにもあいなくむねーみたまふにつけてもむね
 のみ陽ーみ給につけてもむねのみ安
 01 44 | 05 おひたつありさまーをひいてんありさまも陽ーを
 い、つるありさまも安
 01 44 | 05 きかせまほしけれとーきかせほしけれと安
 01 44 | 05 かことにーかことを陽安
 01 44 | 05 うちいてーえいひいて陽安
 01 44 | 06 やとりにはーやとには陽ーやとは安
 01 44 | 06 つかたにと思まとへとそのま、にーいつくにかと
 おもへと陽ーいつ方にと思まとへとそのま、に安
 01 44 | 07 あやしと思なけきあへりーあさましうあやしと思ひ
 た(あえ)り陽ーあさましうあよしと思あえり安
 01 44 | 07 けはひをーけはひはかりをは安
 01 44 | 08 かけはなれーナシ陽安
 01 44 | 09 いひなしてーいひて陽安
 01 44 | 09 ありきければーあるけは陽ーありけは安
 01 44 | 09 いと、ーナシ陽ーいと安
 01 44 | 09 もしーナシ陽
 01 44 | 10 ことものーこ(へとも)などの陽ーこなどの安
 01 44 | 10 頭の君にをちきこえてーナシ陽
 01 44 | 10 やかてーとりて陽
 01 44 | 10 いてくたりにけるーゐてかくしたる陽安
 01 44 | 11 思よりけるーおもひける陽
 01 44 | 11 このーかの陽安
 01 44 | 11 めのとのーナシ陽
 01 44 | 12 三人そのこはありてーナシ陽ーはらからとち三人そ
 ありける安
 01 44 | 12 御ありさまをきかせぬなりけりとー御ありさまもき
 かせぬとぞ思ひて陽ー御ありさまもきかせぬとぞ安
 01 44 | 13 なきこひけりーなきこひきこえける陽ーなきこひき
 こえける安
 01 44 | 13 右近はたーうこんは陽安
 01 44 | 13 かしかましくーかしかましく陽
 01 44 | 13 おもひてーおもふに陽ー思に安
 01 44 | 14 いまさらにーいまさらこのこと陽ーいまさらにこの
 事安
 01 44 | 14 しのひーいみしうしのひ陽ーいみしくしのひ安
 01 44 | 14 うへをーうゑを陽ーゆくゑを安
 01 44 | 14 あさましくーあさましう陽
 01 45 | 01 ゆめをーゆめに陽安
 01 45 | 01 おほしわたるにーおほしなけく(わたるに)陽
 01 45 | 01 このーナシ陽ーかの安
 01 45 | 01 し給てーし給ひて陽ーし給ての安

- 01 45 | 02 またのよゝまたの夜陽
 01 45 | 02 ほのかにーナシ安
 01 45 | 02 院なからそひたりし女のさまもおなしやうにてーゐ
 んにていたる女もおなしさまに陽ー院のうちながら
 そひたりし女もありしさまに安
 01 45 | 03 みえければー（みえけ）いたれば陽
 01 45 | 03 あれたりしーあれたる陽安
 01 45 | 03 みいれけんーみい（れ）けん「えノ上カラいヲ書ク」
 陽ーみいれける安
 01 45 | 03 なりぬること、おほしいつるにもゆゝしくー成りに
 けるとおほすもいみしう陽ーなりにけるとおほほす
 もいみしくのみ安
 01 45 | 04 いよのすけーいよのすけは安
 01 45 | 04 神無月のついたちころにー八月つこもりにそ陽ー神
 な月のついたちころに安
 01 45 | 05 くだるーくたりける陽安
 01 45 | 05 女はうのー女房陽ー女房も安
 01 45 | 05 くだらんにーくだるらん陽

（まつもと・おおき 関西大学）